

平成 27 年度 三重大学修学達成度評価 報告書（概要）

－三重大学生の 4 つの力に関するアンケート－

高等教育創造開発センター 教育評価部門

1. アンケートの概要

1.1 アンケート 1（春実施）

調査対象 平成 27 年度新入学生 1,365 名

調査方法 新入生が受講する授業等にて、アンケート用紙を学生に配付・回収した。

調査時期 平成 27 年 4 月～5 月

有効回答者数（率） 1,194 名（87.5%）

1.2 アンケート 2（秋実施）

調査対象 三重大学に在籍する学部生 6,134 名

調査方法 三重大学ウェブ調査システムを用いて実施した。

（一部の学科・学年において紙媒体での回答があった）

調査時期 平成 27 年 8 月～9 月

有効回答者数（率） 4,459 名（72.7%）



1.3 分析対象者数

有効回答者より所属不明の学生のデータと在籍年数が 5 年目以上（医学科は 7 年目以上）の学生のデータを除外した。アンケート 1 の分析対象者は、1,193 名、アンケート 2 は、4,342 名であった。

表1 分析対象者数

		人文	教育	医	工	生物資源	合計
アンケート (春) 1	1年目	167	197	193	394	242	1,193
	2年目	214	196	192	392	245	1,239
アンケート (秋) 2	3年目	214	201	138	358	236	1,147
	4年目	228	204	105	348	229	1,114
	5年目	125	181	117	271	132	826
	6年目			2			2
	6年目			14			14
							4,342

2. 「4 つの力」の結果について

2.1 「感じる力」

(1) 「感じる力」の得点について

大学の学習への動機づけを感じる力をアンケート 1 では 21 項目、アンケート 2 では 24 項目を設定し、「全くそう思わない」から「非常にそう思う」の 5 段階で回答を求めた。



表2.1.1.1 感じる力の得点 平均値(全学生)

	効力予期	利用価値	社会的利用価値	興味価値	私的獲得価値	社会的環境	動機づけ総合指標
1年目春	3.30	4.32	4.00	3.70	4.31	3.74	—
1年目秋	3.28	3.96	3.76	3.43	3.96	3.56	3.46
2年目	3.31	3.83	3.68	3.38	3.85	3.57	3.47
3年目	3.29	3.69	3.57	3.36	3.72	3.54	3.49
4年目	3.36	3.77	3.66	3.42	3.80	3.59	3.55
全学年	3.31	3.82	3.67	3.40	3.84	3.56	3.49

※得点の幅は1～5点。中点は3点。

※全学年の平均値には、医学科5年生・6年生のデータを含む。

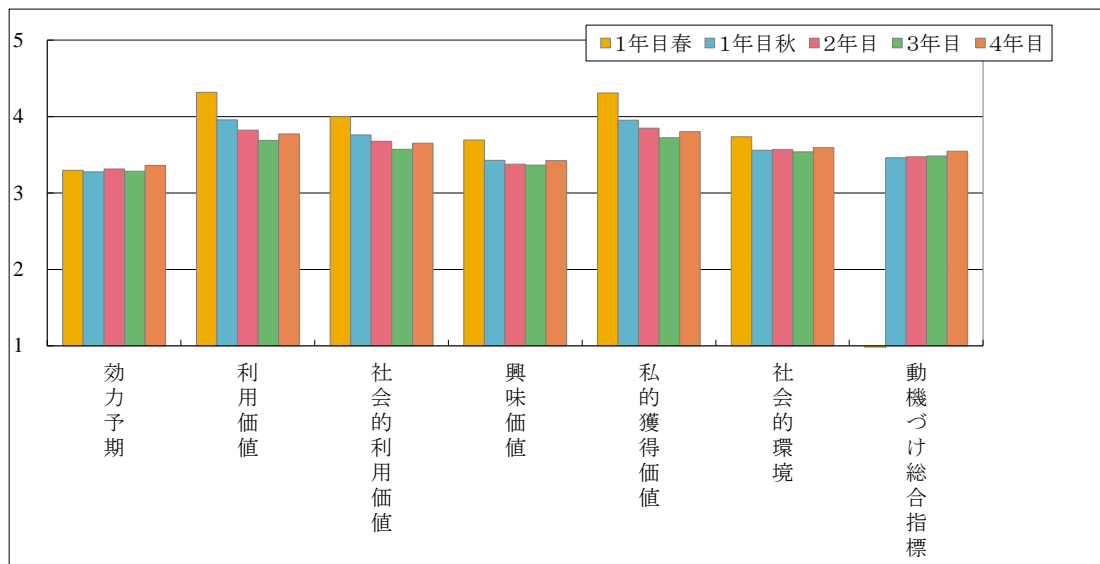


図2.1.1.1 感じる力の得点 平均値(全学生)

効力予期	学習をやり遂げることができると感じる事
利用価値	学習が自分の将来に役立つという価値づけ
社会的利用価値	学習が他者や社会に役立つという価値づけ
興味価値	取り組む課題が面白いと感じる価値づけ
私的獲得価値	学習することによって、なりたい自分に近づけるという価値づけ
社会的環境	学習をサポートしてくれる他者の存在
動機づけ総合指標 (アンケート2のみ)	大学での学習に積極的に取り組む姿勢

- ・価値に関する得点（「利用価値」や「社会的利用価値」、「興味価値」、「私的獲得価値」）は、1年目春の学生の平均値が高かったが、1年目秋になると低下した。1年目春の動機づけの高さの維持が難しいことを示している。1年目春の平均値の高さは、入学時の期待が過大化した表れとも考えられる。
- ・アンケート2（1年目秋～4年目の学生対象）において、学年間で比較すると1年目秋と4年目の学生はどの得点も平均値が高く、学習の動機づけが高かった。一方、2年目と3年目の学生はどの得点も平均値が低く、動機づけが低かった。

(2) 「心身の健康」に対する意識について

規則正しい生活について「心がけていない」から「心がけている」の5段階で回答を求めた。

表2.1.1.2 規則正しい生活についての平均値(全学生)

	規則正しい生活を心がける
1年目春	3.71
1年目秋	3.60
2年目	3.52
3年目	3.43
4年目	3.51
全学年	3.52

※得点の幅は1～5点。中点は3点。
 ※全学年の平均値には、医学科5年生・6年生のデータを含む。

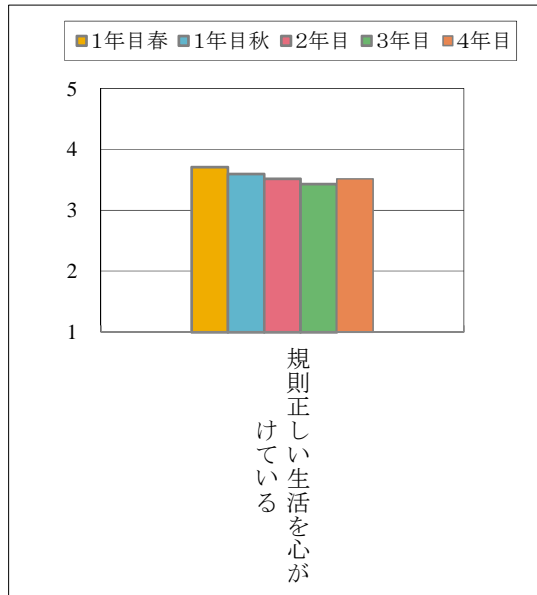


図2.1.1.2 規則正しい生活についての平均値(全学生)

- ・どの学年も平均値が3.5点(中点は3点)付近であり、どちらかといえば規則正しい生活を心がけていることが示された。

(3) 「感じる力」の習得について

感じる力の習得に関する2項目について、「全くそう思わない」から「非常にそう思う」の5段階で回答を求めた。

表2.1.1.3 感じる力の習得についての平均値(全学生)

	も「感じる力」を身につけるか	教「感じる力」を身につけるか
1年目春	4.04	3.81
1年目秋	3.76	3.48
2年目	3.65	3.36
3年目	3.56	3.27
4年目	3.59	3.25
全学年	3.65	3.35

※得点の幅は1～5点。中点は3点。
 ※全学年の平均値には、医学科5年生・6年生のデータを含む。

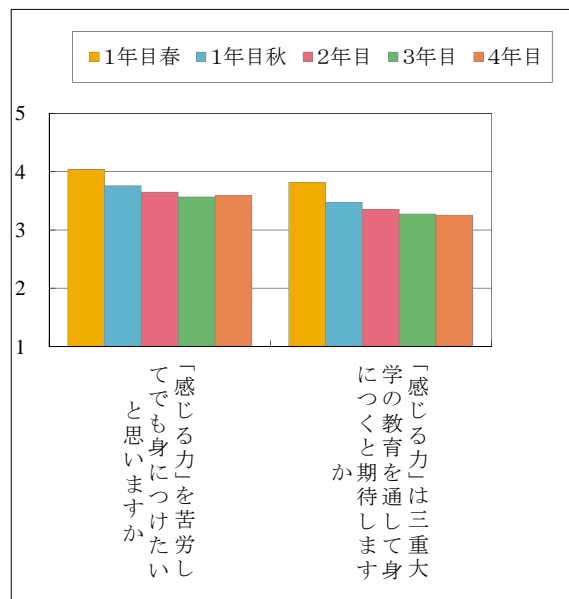


図2.1.1.3 感じる力の習得についての平均値(全学生)

- ・2項目とも1年目春の学生の平均値が最も高かった。入学直後の学生は、感じる力を身につけたいと考えており、また大学教育に対する期待も高いことが示された。
- ・2年目以降の学生は1年目の学生と比べると、苦勞してでも感じる力を身につけたいという意欲があまり持っていないことが示された。
- ・他の3つの力（考える力・コミュニケーション力・生きる力）の習得についての結果と比べると、感じる力の2項目は平均値が低かった。

2.2 「考える力」

考える力

(1) 「考える力」の志向性と経験について

考える力について、志向性12項目と経験12項目を設定した。志向性は、「全くなりたくない」から「非常になりたい」の7段階で回答を求めた。経験は、「全くしていない」から「いつもしている」の7段階で回答を求めた。

表2.1.2.1 考える力 志向性と経験の平均値(全学生)

	志向性				経験			
	要点理解	論理重視・証拠	脱軽信	決断力	要点理解	論理重視・証拠	脱軽信	決断力
1年目春	6.32	4.90	5.14	5.90	—	—	—	—
1年目秋	6.11	5.05	5.19	5.74	4.90	4.62	4.72	4.68
2年目	5.89	5.03	5.13	5.56	4.83	4.63	4.66	4.64
3年目	5.67	5.02	4.98	5.39	4.79	4.67	4.66	4.62
4年目	5.73	5.00	5.05	5.47	4.91	4.72	4.72	4.75
全学年	5.86	5.03	5.09	5.55	4.86	4.65	4.69	4.67

※得点の幅は1～7点。中点は4点。

※全学年の平均値には、医学科5年生・6年生のデータを含む。

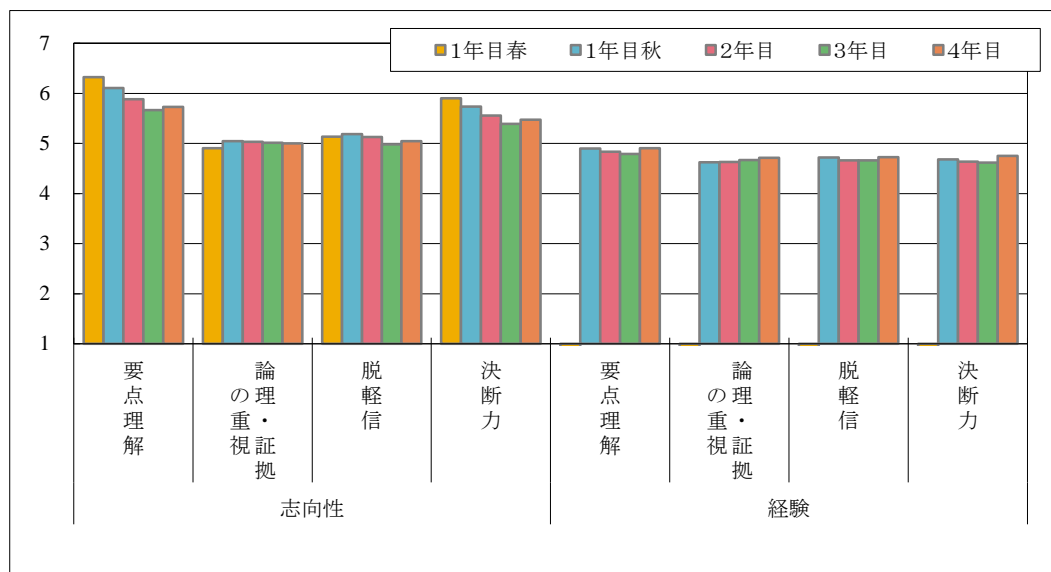


図2.1.2.1 考える力 志向性と経験の平均値(全学生)

	志向性 (自分がこのような人になりたいかどうか)	経験 (最近、このような経験をしたか)
要点理解	問題の要点を素早くつかんで理解する	
論理・証拠の重視	論理や証拠を重視し、それに基づいて考える	
脱軽信	情報を鵜呑みにせず、本当に正しいのかいったん考える	
決断力	物事に対して、いつまでも思い悩まず、適切に決断する	

- ・志向性の「要点理解」と「決断力」について、全学年を通して平均値が高かった。学生が問題の要点を理解し、物事に対して適切に決断するような人になりたいと考えていることが示された。特に1年目（春・秋）の学生がそのようになりたいと考えているようである。
- ・1年目春の学生は他の力の得点も含めてどの得点も高い傾向にあるが、志向性の「論理・証拠の重視」や「脱軽信」の平均値は低かった。入学直後の学生は、4つの力の様々な側面について成長したいと考えているが、論理や証拠に基づいて考えたり、情報を鵜呑みにせず正しいかどうかを考えたりする力についてはそれほど志向的ではないことが示された。
- ・経験の4得点について、学年間に有意な差はみられなかった。
- ・「要点理解」と「決断力」について、志向性の平均値は高いが経験の平均値は低く、志向性と経験の平均値の差が大きかった。問題の要点を理解し、適切に判断するような人を目指しているが、そのような経験をしているとあまり感じていないようである。

(2) 「考える力」の習得について

考える力の習得に関する2項目について、「全くそう思わない」から「非常にそう思う」の5段階で回答を求めた。

表2.1.2.2 考える力の習得についての平均値（全学生）

	もー身に考える力をつけたいと苦しいまで	教待育考をえし力をつけて身は三重大学期の
1年目春	4.32	4.01
1年目秋	3.99	3.71
2年目	3.87	3.59
3年目	3.74	3.51
4年目	3.79	3.47
全学年	3.86	3.58

※得点の幅は1～5点。中点は3点。
※全学年の平均値には、医学科5年生・6年生のデータを含む。

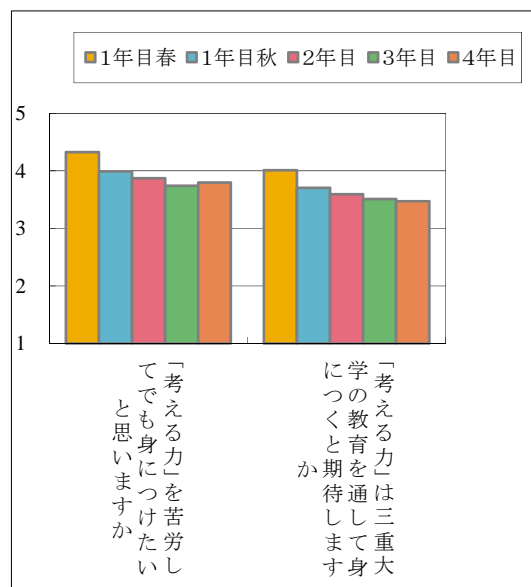


図2.1.2.2 考える力の習得についての平均値（全学生）

- ・2項目とも、1年目春の学生の平均値が最も高かった。入学直後の学生は、考える力を身につけたいと感じ、大学教育に対する期待も高いことが示された。
- ・他の3つの力（感じる力・コミュニケーション力・生きる力）の習得についての結果と比べると、考える力は大学教育に対する期待が高かった。

2.3 「コミュニケーション力」



(1) 「コミュニケーション力」の志向性と経験について

コミュニケーション力について、志向性9項目と経験9項目を設定し、志向性は、「全くなりたくない」から「非常になりたい」の7段階で回答を求めた。経験は、「全くしていない」から「いつもしている」の7段階で回答を求めた。

表2.1.3.1 コミュニケーション力 志向性と経験の平均値(全学生)

	志向性			経験		
	多 様 性 理 解	他 の 理 解	真 正 性	多 様 性 理 解	他 の 理 解	真 正 性
1年目春	5.92	6.09	5.60	—	—	—
1年目秋	5.72	5.89	5.54	5.02	5.27	4.53
2年目	5.56	5.68	5.42	4.92	5.11	4.63
3年目	5.39	5.47	5.27	4.85	5.01	4.58
4年目	5.49	5.56	5.31	4.97	5.07	4.63
全学年	5.55	5.66	5.39	4.94	5.12	4.59

※得点の幅は1～7点。中点は4点。

※全学年の平均値には、医学科5年生・6年生のデータを含む

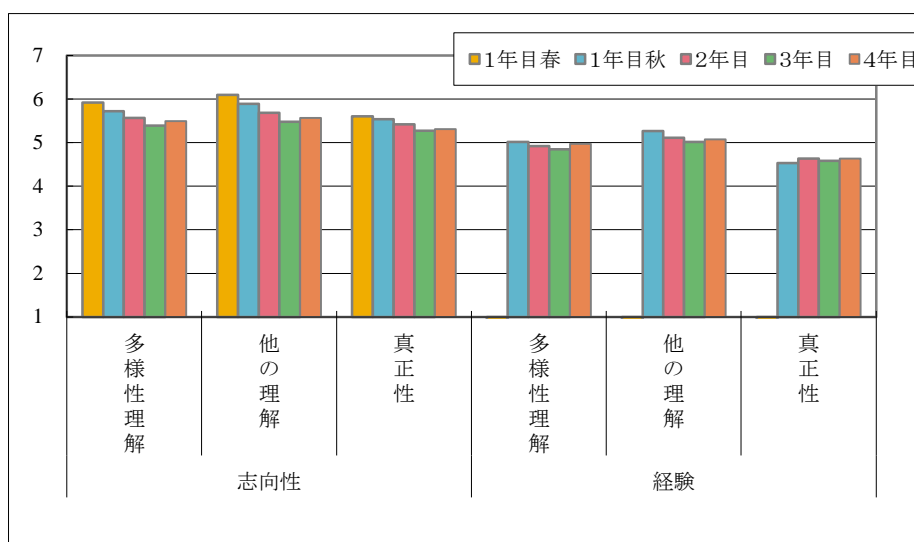


図2.1.3.1 コミュニケーション力 志向性と経験の平均値 (全学生)

	志向性	経験
	(自分がこのような人になりたいかどうか)	(最近、このような経験をしたか)
多様性理解	人によって多様な意見を持っていることを理解する	
他の理解	他者の考えや意見を理解する	
真正性	他者の考えに対して正しいかどうかを指摘する	

- ・ 志向性の3つの得点について、学年間で比較すると、1年目（春・秋）の学生の平均値は非常に高く、3年目学生の平均値が最も低かった。入学直後の学生は、コミュニケーション力を発揮できる人になりたいという志向性は高いが、3年目の学生はその志向性が低いようである。
- ・ 1年目の学生の平均値が高く、3年目の平均値が低い傾向は、経験の「多様性理解」と「他の理解」にも同様の傾向がみられた。

(2) 「コミュニケーション力」の自信について

コミュニケーションの自信についての4項目を設定し、「全く自信がない」から「非常に自信がある」の5段階で回答を求めた。

表2.1.3.2 コミュニケーション力 自信の平均値(全学生)

	自信			
	英語コミュニケーション	ディスカッション	プレゼンテーション	友人とのコミュニケーション
1年目春	1.95	2.52	2.35	3.23
1年目秋	2.24	2.71	2.59	3.29
2年目	2.35	2.77	2.65	3.30
3年目	2.41	2.79	2.73	3.24
4年目	2.42	2.90	2.83	3.42
全学年	2.35	2.78	2.69	3.31

※得点の幅は1～5点。中点は3点。

※全学年の平均値には、医学科5年生・6年生のデータを含む。

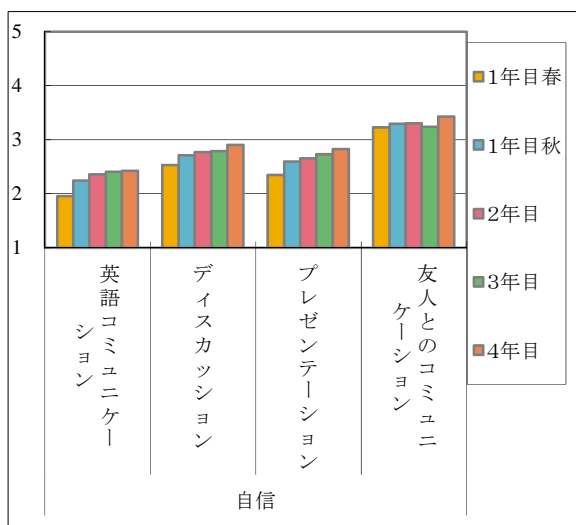


図2.1.3.2 コミュニケーション力 自信の平均値(全学生)

- 「英語コミュニケーション」や「ディスカッション」、「プレゼンテーション」に対する自信は、1年目春の学生の平均値が最も低かったが、1年目秋になると平均値が上がっていたため、1年の間に自信を持てるようになったことが示された。
- 4年目の学生はこの3得点の平均値は高かった。しかし、どの学年も中点の3点（5段階評定の「どちらともいえない」にあたる）を下回っていることから、全学生が英語コミュニケーションやディスカッション、プレゼンテーションにどちらかといえば自信を持っていないということである。

(3) 「コミュニケーション力」の習得について

コミュニケーション力の習得に関する2項目について、「全くそう思わない」から「非常にそう思う」の5段階で回答を求めた。

表2.1.3.3 コミュニケーション力の習得についての平均値(全学生)

	「コミュニケーションに苦しみ、思うように身に付かない」と感じる	「コミュニケーションは重大な課題であり、期待通りに身に付かない」と感じる
1年目春	4.43	3.99
1年目秋	4.20	3.66
2年目	3.99	3.46
3年目	3.86	3.37
4年目	3.88	3.33
全学年	3.99	3.47

※得点の幅は1～5点。中点は3点。

※全学年の平均値には、医学科5年生・6年生のデータを含む。

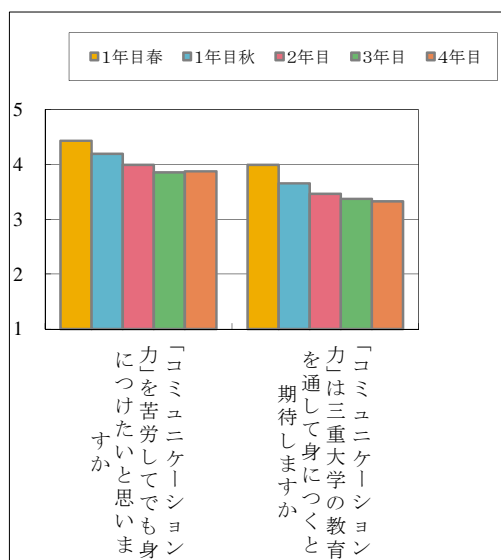


図2.1.3.3 コミュニケーション力の習得についての平均値(全学生)

- ・「苦勞しても身につけたいと思いますか」は、全学年の平均値が4点（5段階評定の「そう思う」にあたる）付近と高く、どの学年もコミュニケーション力を身につけたいと感じている。その中では、1年目春の学生の平均値が高く、3年目や4年目の学生の平均値は低かった。
- ・他の3つの力（感じる力・考える力・生きる力）の習得についての結果と比べると、2項目間の平均値の差が大きく、苦勞しても身につけたいが、大学教育への期待は高くないようである。



2.4 「生きる力」

「生きる力」の習得について

生きる力の習得に関する2項目について、「全くそう思わない」から「非常にそう思う」の5段階で回答を求めた。

- ・2項目とも1年目春の学生の平均値が最も高かった。入学直後の学生は、生きる力を身につけたいと考えており、また大学教育への期待も高いことが示された。
- ・他の3つの力（感じる力・考える力・コミュニケーション力）と同様に、苦勞しても生きる力を身につけたいという項目について、他の学年と比べると3年目の学生の平均値が低い傾向がみられた。

表2.1.4.1 生きる力の習得についての平均値（全学生）

	もー 身生 にき つる け力 たー か いを と苦 思勞 いし まて す か	教ー 待育生 をき し通る し力 てー ま身は すつ重 かと学 期の
1年目春	4.31	3.93
1年目秋	4.03	3.58
2年目	3.86	3.45
3年目	3.73	3.37
4年目	3.76	3.33
全学年	3.86	3.44

※得点の幅は1～5点。中点は3点。
※全学年の平均値には、医学科5年生・6年生のデータを含む。

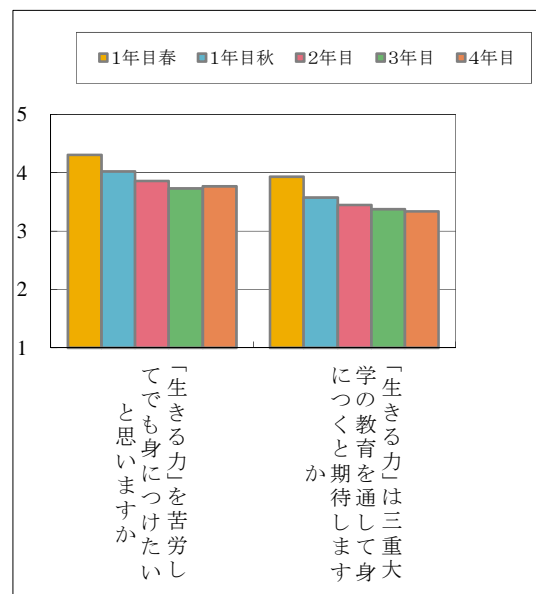


図2.1.4.1 生きる力の習得についての平均値（全学生）